

平成23年度  
デジタルアーカイブの構築・連携に関する調査研究  
実施状況

---

平成23年 10月17日

## 目次

---

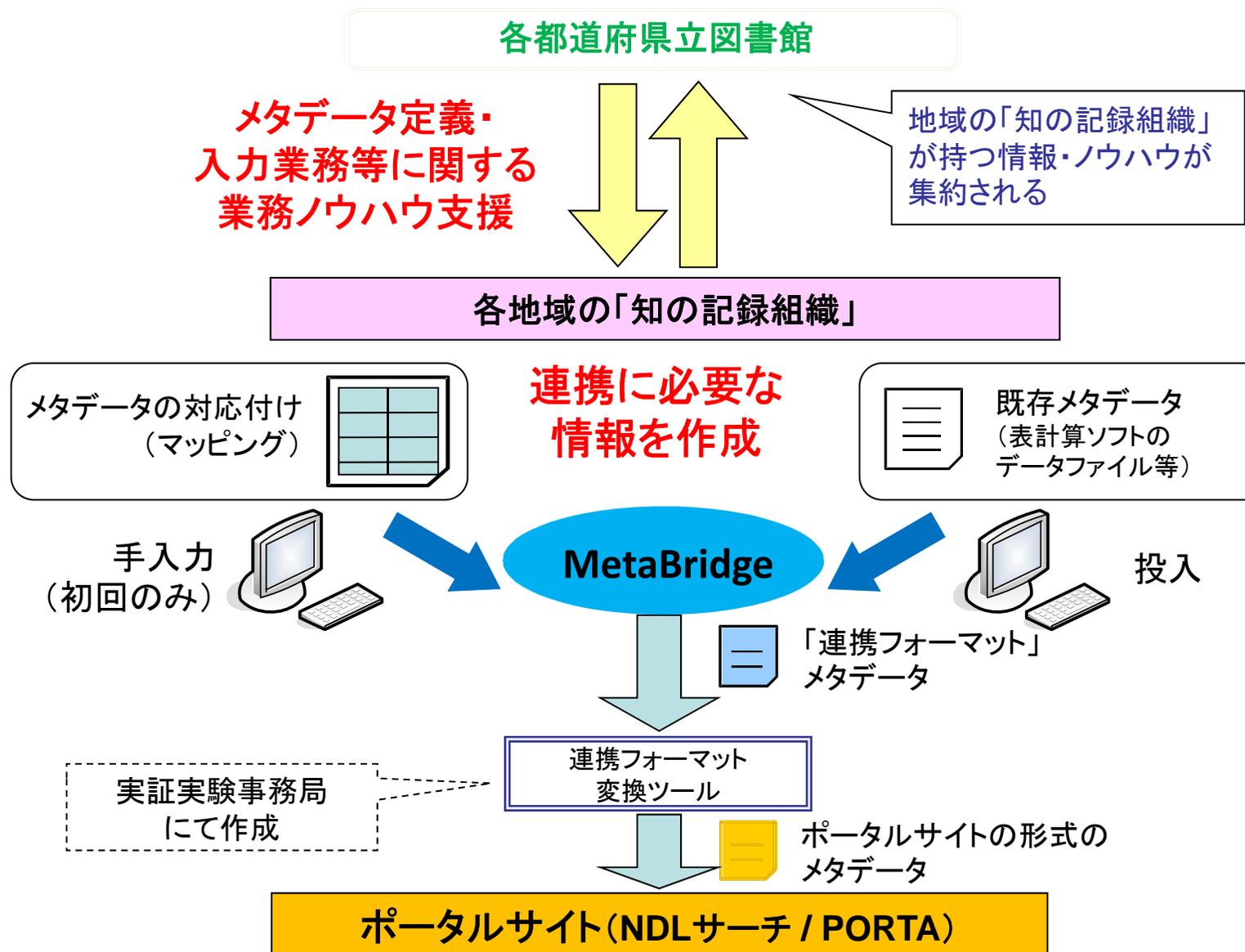
- **実証実験の実施状況**
  - － オープンなメタデータ情報基盤の構築に関する調査・実証
- **調査実施状況**
  - － デジタルアーカイブ長期利用・保存の調査

---

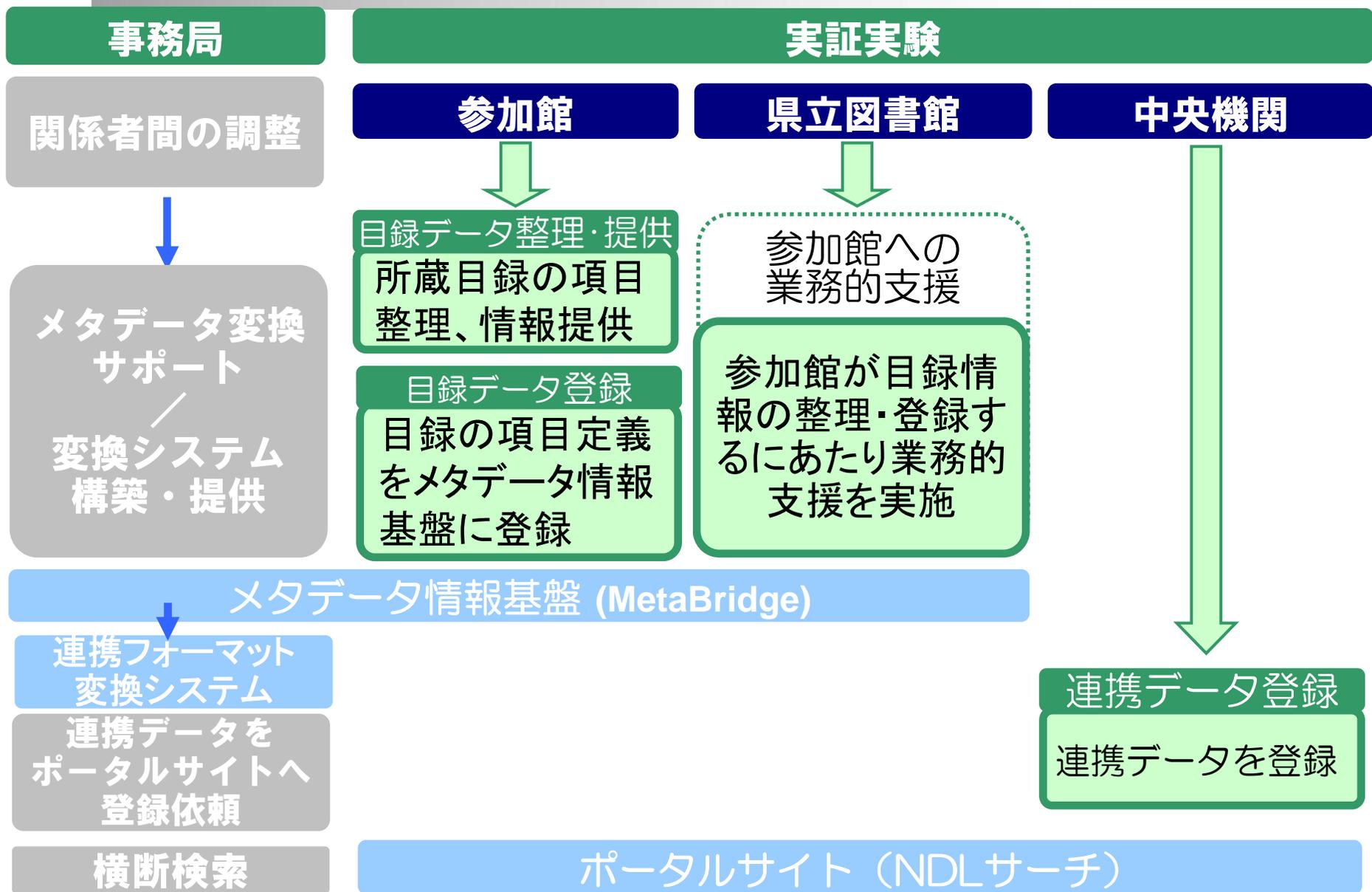
# 実証実験の実施状況

オープンなメタデータ情報基盤の構築に関する調査・実証

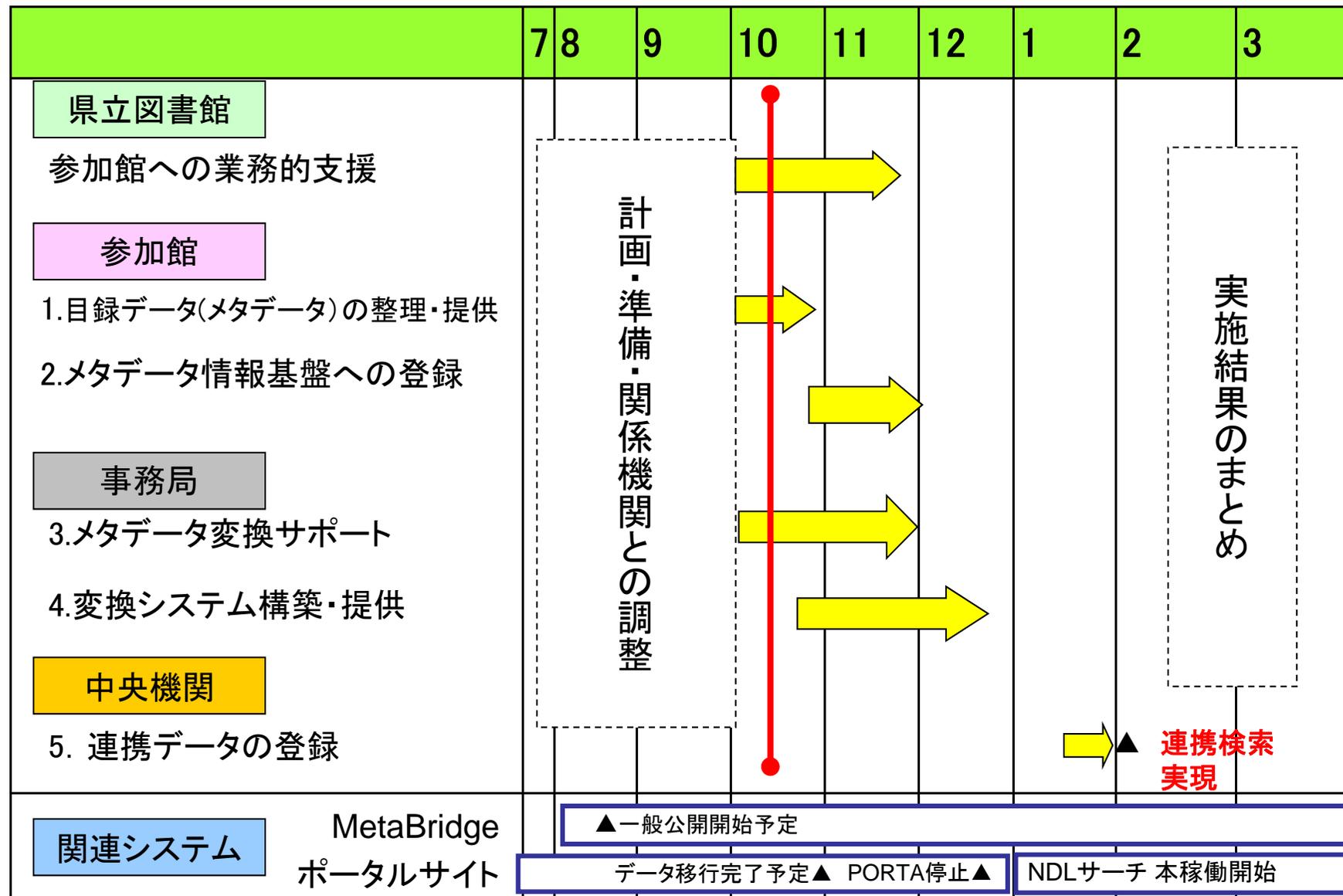
# 実証実験 概要



# 実施の流れ



# スケジュール



# 実証実験体制

- ・ 参加館として、あきた文学資料館、秋田県立近代美術館、秋田県公文書館、秋田県立博物館の4館で実施
- ・ ポータルサイトとして、国立国会図書館のNDLサーチを利用

## 実証実験

(オープンなメタデータ情報基盤の構築に関する調査・実証)

事務局 総務省

### 参加館

あきた文学資料館  
秋田県立近代美術館  
秋田県公文書館  
秋田県立博物館

### 県立図書館

秋田県立図書館

### 中央機関

国立国会図書館

# 実証実験状況

## 事務局

## 県立図書館

## 中央機関

- ・秋田県での参加館調整
  - ⇒ 秋田県立図書館を中心に、あきた文学資料館、秋田県立近代美術館、秋田県公文書館、秋田県立博物館の4機関に承諾を受け各館の目録データ収集中
- ・NDLサーチでのデータ登録日程調整
  - ⇒ 2012年1月末を連携予定として調整
- ・メタデータ情報基盤(MetaBridge)への登録
  - ⇒ アカウント発行依頼。事務局分も含め5アカウント受領済み

## 参加館

- ・目録データ整理・提供
  - ⇒ 各館でデータ準備開始

※メーリングリストを準備して、実証実験の参加館全体で情報共有を図る

---

# 調査実施状況

デジタルアーカイブ長期利用・保存の調査

# 調査実施状況

---

## 【調査手法1】長期利用・保存の現状と検討課題の整理

### ヒアリング対象 :12機関

(国立国会図書館、国立公文書館、東京国立博物館、横浜美術館、大日本印刷、凸版印刷、日本放送協会、青空文庫、ゲッティイメージズ、アマナイイメージズ、日本電子出版協会、国際マイクロ写真工業社)

### ヒアリング実施状況(10/17時点):5機関

(国立国会図書館、ゲッティイメージズ、国際マイクロ写真工業社、アマナイイメージズ、日本電子出版協会)

### 今後の予定

ヒアリング結果について、中間報告をとりまとめ。必要に応じて二次調査を実施

## 調査実施状況

---

### 【調査手法2】海外の事例や研究報告等の整理(最新動向の調査)

以下の2つを調査対象として、海外の事例や研究報告等を整理

“7th International Conference on Preservation of Digital Objects (iPRES2010)”  
(2010.10), <http://www.ifs.tuwien.ac.at/dp/ipres2010/>

第7回デジタル情報の保存に関する国際会議iPRES2010。ウィーン開催の会議資料等

“New Roles for New Times: Digital Curation for Preservation” (2011.3),  
[http://www.arl.org/bm~doc/nrnt\\_digital\\_curation17mar11.pdf](http://www.arl.org/bm~doc/nrnt_digital_curation17mar11.pdf)

ARL(北米研究図書館協会)の報告書。保存のためのデジタルキュレーション分野における図書館の役割やサービスを論じたもの。HathiTrust等、複数機関による協同のデジタル資料保存の取り組みの紹介や、研究図書館がデジタル資料の保存に取り組むにあたっての提言

## 調査実施状況

---

### 【調査手法3】実例(手法)を中心とした調査

ヒアリング対象: 2機関

(神戸大学附属図書館、九州大学附属図書館)

ヒアリング実施状況(10/7時点): 1機関

(神戸大学附属図書館)

今後の予定

九州大学附属図書館:2011年10月中にヒアリング